

ゆる

パーカルの魅力。

取材・文／はらみづほ 写真／穂野孝行

Vol.10
ECOさんが
帰る場所

HOME GROUND of
ECO-LIFE



世界最高品質のレコード針を持つ珠玉プレーヤー。



緑豊かな環境に溶け込む、森の化身的エコハウス。



街を望むパノラマの自然環境を忠実に再現し、心地よい「ゆる」空間。

世界最響のゴージャスコ！

エコライフの手法とも言える「パーマカルチャー」を学んでいた幸子さんと吉和さんが、住み慣れた京都を離れ西條デザインプロデュースの「伊達エコビレッジ」で暮らし始めたのは、今年の3月。関西の文化とはかけ離れた北海道の田舎に移住してエコビレッジでの生活を選んだご夫妻と聞き、熱血エコ生活を想像していたものの、一見エコとはかけ離れた印象のゴージャスコオーディオルームにビックリ！この部屋は、日本屈指の音響スペシャリストの指南を基に設計されたとのこと、世界一品質の日本製レコード針をはじめ、各種一流音響機器から、床下・壁・電気系統の特殊設備



遊び心満載のキッチン。窓光・景色を演出した設計で広々とした印象。

に至るまで、昔のレコード音源をライブのような臨場感で立ち上がらせるための知恵と技術が満載！けれどもそんなタイムマシンの最先端ワールドが、道産木材や自然素材の床壁・断熱材などで実現しているところが、エコビレッジたるゆえん。西條デザインと吉和さんのこだわりが、最響のエコ空間を実現したのです。

ゆるやかは共生のはじまり。

一方、生演奏派の幸子さんの趣味空間にはハモンドオルガンなどの楽器が並び、風と太陽の力で自家発電したてきたて直流電気が使える設計。電力会社から届く電気より澄んだ音が味わえると聞き、電気も食品同様、自然原料の地産

この記事の続きは、HPでお楽しみください。
<http://www.saijo-d.com>



エコデザイナー
西條 正幸

「パーマカルチャー」とは

1970年代にオーストラリアのビル・モリソン氏が確立した、「パーマネント(永続的な)」「アグリカルチャー(農的生活)」「カルチャー(文化)」の3要素を軸とした、自然と共生する生活設計のこと。農的暮らしのバイブルとして参考になることが、たくさんありますよ。

07
資料請求

BiO+
生バイオプラス西條デザイン

◎企画・設計 有限会社 バイオプラス西條デザイン
本社:〒002-8081 札幌市北区百合が原4丁目8-1
Tel.011-774-8599 Fax.011-774-8581

地消が一番なのね〜！と感じ入りました。正式なパーマカルチャーには及ばぬものの、いい加減にカスタマイズした自称「ゆるパーカル」を楽しむお二人は、結婚41年目。自然に選る建材の使用、互いの趣味部屋以外を必要最小限に抑えた間取り、雨水や風呂の残り湯を水やりに使うしくみ、色とりどりの野菜や花々に自家発電機が溶け込む広々とした庭、訪問客と真っ先に出会える玄関先に置かれた、淋しがり屋の老犬の犬小屋……。各所に感じられる命の多様性を大らかに包み込むゆるパーカルの姿に、自然体の本質をしみじみと感じさせられた、取材のひとつでした。



大倉 幸子さん

澤井 吉和さん

連れ添って41年目のお二人は、互いに似て非なる趣味を持つ夫婦別姓カップル。